

2014年度摂南大学研究助成「Smart and Human研究助成金」審査結果について

(1) 採択一覧表

番号	研究種別	研究課題	学部	代表者	共同研究者		助成金額
1	特定重点	北河内地域の総合研究のための 枠組みづくり	経済	八木紀一郎	太田義器	河原匡見 他4名	1,900,000
2		北河内地域内のものづくり企業と のコーオプ教育体制の確立	理工	川野常夫	諏訪晴彦	奥野竜平 他2名 学生4名 他機関2名	1,000,000
3	一般	地域資源にもとづく持続的社会の 形成 ～すさみ町総合研究～フェーズⅢ	外国語	浅野英一	八木紀一郎	橋本正治 他5名	2,000,000
4		社会変動とエートスの関わりにつ いての研究 -3.11後の日本社会-(2)	経営	佐藤正志	有馬善一	牧野邦昭	700,000
5		小児病棟における看護職の積極 的な子育て支援の実践とその効果	看護	鎌田佳奈美	池田友美	亀田直子 他機関8名	500,000
6		態度を育てる学生間相互パフォー マンス評価システムの開発と薬看 連携教育への応用	薬	安原智久	板倉勲子		1,300,000
7		短期外国人留学生の多様化に向 けた日本語教育体制の整備	国際交流	高井美穂	門脇薫	齋藤安以子	500,000
8		ローヤルゼリーよりミツバチカス トを維持するフェロモン探索	薬	中谷尊史	菅原道夫	脇谷英征 学生13名	800,000
9		粘膜バリア透過及び破綻能を有す るアレルギー誘発・増悪物質の探 索と作用機構の解明	薬	角谷秀樹	太田壮一	中尾晃幸 他1名 実習生5名	500,000
10		枚方市在住高齢者の認知機能を 守り隊 ～摂南大学 運動キャラバン～	スポ振	藤林真美	板倉勲子	七山知佳 他1名	800,000

(2) 講 評

Smart and Human研究助成については、申請代表者から17件の応募がありました。審査の第1段階は審査員全員5点満点で評価し、第2段階はその高評価を中心に協議しました。審査は、Smart and Humanの精神を理解しているかを基に選考しました。なお、基礎・基盤研究については外部の競争的資金(科研費等)に申請してください。つぎにそれぞれの研究課題のコメントを付けます。

番号	研究種別	研究課題	評価内容
1	特定重点	北河内地域の総合研究のための枠組みづくり	学部を横断した研究チームによって、広い観点から地域の社会活性度を把握し、最終的には本地域における社会連携、政策提言を行おうとしており、地域の活性化に貢献すると考えられる。研究内容を細かくに広報するよう努めること。
2		北河内地域内のものづくり企業とのコーオプ教育体制の確立	北河内地域の企業と学生および教員の産学連携型のインターンシップ(コーオプ教育)を通じて、ものづくりを教育するものである。単なる現場教育ではなく、研究的要素が加わることを期待する。
3	一般	地域資源にもとづく持続的社会的形成～すさみ町総合研究～フェーズⅢ	すさみ町の総合研究は、これまで学部横断型の研究として着実に実績をあげてきており評価される。今回の申請は、最終年における研究の集大成とするために研究成果の1区切りとしてシンポジウムの開催を期待する。
4		社会変動とエトスの関わりについての研究 -3.11後の日本社会-(2)	危機を迎えているわが国の人々の精神構造の変化を研究しようとするもの。文理のバランスがとれた総合大学としての本学に是非とも発展させたい必須の分野に係る研究。学内の連携も申し分ない。出来れば学生たちを巻き込んで研究して欲しい。
5		小児病棟における看護職の積極的な子育て支援の実践とその効果	連携幅も広く、学外の枚方市民病院とのメンバーと協力することによって、子供虐待を予防する新しい仕組みを創ろうとする優れた取り組みであり、地域と病院と大学の意欲的な連携である。
6		態度を育てる学生間相互パフォーマンス評価システムの開発と薬看連携教育への応用	本研究は、本学の推進しているアクティブラーニングおよび学部横断的教育法の開発に関する研究であり、本学の教育力向上にきわめて有用であると推察される。特に、薬学生と看護学生の医療人教育を学生間相互評価を導入して実施するという斬新的な研究でもある。本研究において、提案の教育プログラムの有効性が証明されれば、全学的学部間連携教育への導入が期待できる。
7		短期外国人留学生の多様化に向けた日本語教育体制の整備	意欲的なプロジェクトである。研究を進める過程で、外国人留学生と日本人学生間の協力、さらに海外協定校との教職員の協力の強化、教材開発面での協力など幅広い活動が期待できる。
8		ローヤルゼリーよりミツバチカスト制を維持するフェロモン探索	本学の薬草園でミツバチを飼育しながら行う非常に貴重で新規性に富む共同研究。共同研究参加者の幅広く特異な連携が貴重である。研究内容を細かくに広報するよう努めること。
9		粘膜バリア透過及び破綻能を有するアレルギー誘発・増悪物質の探索と作用機構の解明	人体の生体粘膜バリアが異物の侵入を保護している。しかし、有害物質によって生体粘膜バリアが破綻すると、免疫担当細胞が活性化され、種々のアレルギーを引き起こすと考えられる。本研究ではバリアを破綻する有害物質をスクリーニングし、その作用機構を明らかにするもので、成果を期待する。
10		枚方市在住高齢者の認知機能を守り隊 ～摂南大学 運動キャラバン～	将来的には、全地域に広がるような研究に努めること。歩数計には、摂南大学Smart and Humanと入れること。